

平成 27年 06月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

住みやすい家「いえやす」

グループの名称

静岡 家づくり強靱化を考える会

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

江間 康雄

代表者印

代表者所属先

株式会社江間建設

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

静岡県浜松市中区上島5-4-10

代表者電話番号

053-471-1993

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 原川

事務局構成員番号

Ⅲ-1, Ⅶ-1

事務局担当者名

原川 哲

印

事務局郵便番号

430-0802

事務局所在地

静岡県浜松市東区将監町30-12

事務局電話番号

053-464-3100

事務局FAX

053-465-5382

事務局担当者E-mail

green@harakawa.jp

| | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 地域型住宅の名称(必須) | 住みやすい家「いえやす」 |
| 2. グループの名称(必須) | 静岡 家づくり強靱化を考える会 |
| 3. 直近採択グループ番号(必須) | — |
| 4. 地域型住宅供給対象地域(必須) | 静岡県・愛知県 |
| 5. 結成年(必須) | 2015 年 |
| 6. グループ代表者名(必須) | 江間 康雄 |
| 7. グループ代表者の所属先(必須) | 株式会社江間建設 |
| 8. グループ代表者の構成員番号(必須) | VI-2 |
| 9. グループ代表者所在地(必須) | 静岡県浜松市中区上島5-4-10 |
| 10. グループ代表者電話番号(必須) | 053-471-1993 |
| 11. グループ事務局事業者名(必須) | 株式会社 原川 |
| 12. グループ事務局の構成員番号(必須) | III-1, VII-1 |
| 13. グループ事務局担当者名(必須) | 原川 哲 |
| 14. グループ事務局郵便番号(必須) | 430-0802 |
| 15. グループ事務局所在地(必須) | 静岡県浜松市東区将監町30-12 |
| 16. グループ事務局電話番号(必須) | 053-464-3100 |
| 17. グループ事務局FAX番号(必須) | 053-465-5382 |
| 18. グループ事務局担当者E-mail(必須) | green@harakawa.jp |

| (構成員数) | | (構成員を含まない理由) |
|--------------------------|---|-----------------------------|
| I. 原木供給 | 6 | 原木供給事業者が海外のため、一部事業者は登録できない。 |
| II. 製材・集成材製造・合板製造 | 7 | |
| III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く) | 2 | |
| IV. プレカット | 3 | |
| V. 設計 | 4 | |
| VI. 施工 | 8 | |
| VII. 省エネルギー設備等の流通 | 1 | |
| VIII. 木材を扱わない流通 | 0 | |
| IX. I～VIII以外の業種 | 0 | |

| A. 使用する地域材に関する事項 (必須) | 対象となる地域材の名称 | 地域材の産地 | 認証制度等の名称 | | 国内・国外 |
|-----------------------|-------------|---------|--------------|---|-------|
| | | | 番号記入欄 | | |
| | 桧(しずおか優良木材) | 静岡県 | しずおか優良木材認証制度 | 1 | 国内 |
| | 杉(しずおか優良木材) | 静岡県 | しずおか優良木材認証制度 | 1 | 国内 |
| | 桧 | 徳島県・愛媛県 | 合法木材証明制度 | 3 | 国内 |
| | 杉 | 徳島県・宮崎県 | 合法木材証明制度 | 3 | 国内 |
| | 米松 | 北米 | 合法木材証明制度 | 3 | 国外 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | |
|---|-----------------------------------|--------------------------|----------------------|--|
| B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須) | 長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 11 戸 | | 地域材加算合計 11 戸 | |
| | うち経験工務店による長期優良住宅 合計 3 戸 | うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 8 戸 | | |
| | うち申請が確実 0 戸 | うち申請が確実 1 戸 | 地域材加算(うち申請が確実) 1 戸 | |
| | うち申請が未確定 3 戸 | うち申請が未確定 7 戸 | 地域材加算(うち申請が未確定) 10 戸 | |
| | 高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 10 戸 | | 地域材加算合計 10 戸 | |
| | うち申請が確実 2 戸 | 地域材加算(うち申請が確実) 2 戸 | | |
| | うち申請が未確定 8 戸 | 地域材加算(うち申請が未確定) 8 戸 | | |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 6 戸 | | 地域材加算合計 6 戸 | | |
| うち申請が確実 0 戸 | 地域材加算(うち申請が確実) 0 戸 | | | |
| うち申請が未確定 6 戸 | 地域材加算(うち申請が未確定) 6 戸 | | | |
| C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須) | 優良建築物 | | | |
| | うち申請が確実 棟 | m ² | | |
| | うち申請が未確定 2 棟 | 600 m ² | | |

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須) | 優先順位 1.申請確定の住宅事業者 2.物件の確定した時期の早い事業者(但し、同じ事業者が2棟目の申請を行う際は、臨時総会にて判断する) | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | | | |
|---|--------|----------------------|---------|--------|
| E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須) | 長期優良住宅 | | | |
| | 採択戸数 戸 | 交付申請戸数 戸 | 完了実績見込み | |
| | | | 竣工済 戸 | 竣工予定 戸 |
| | 木造建築物 | | | |
| | 採択棟数 棟 | 採択床面積 m ² | | |

| | | |
|---|--|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 住みやすい家「いえやす」 | (地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県 |
| 2. グループの名称・結成年(必須) | (グループの名称) 静岡 家づくり強靱化を考える会 | (結成年) 2015 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | --- | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |
| ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定 | | |
| 【平成27年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| ①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能 | 発生が予想される、東海・東南海地震に備え、耐震性能を重視し、建物自体を凹凸の少ない形にする。 温暖な気候に恵まれているが、冬季の季節風は強く体感温度は低く感じるため、断熱性能を重視し、その地区に対応したH25年省エネ基準の断熱性能とする。(非住宅を除く) | ◎ |
| ②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式 | 高齢になっても丈夫で安心な家に住み続けるために、主要構造部にD1特定樹種を使用して蟻害を防ぎ、住宅の耐久性を高くする。 自然風を利用しやすい開口の設計を提案する。 | ◎ |
| ③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール | 地震などの災害に備え、避難経路などの動線を考慮して居室を配置する。 | ◎ |
| ④①～③の背景 | ・静岡県は、日照時間が長く温暖な気候に恵まれている。しかし、冬季の季節風は強く、体感する温度は低く感じる。 ・東海・東南海地震の発生が高い確率で予測されているため、地震に対する備えが必要な地域である。 ・静岡県は、平成22年の健康寿命が女性においては全国一位、男性についても全国第二位という健康寿命日本一の県である。 ・温暖地であるため白蟻の被害が多くみられる。 | ◎ |
| ⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入 | 長期優良住宅や認定低炭素住宅の未経験施工事業者が多いので、団体が協力して、性能が高く、地震などの災害に強い住宅の供給と構成員一人一人のレベルアップを目指す。 | ○ |
| イ. 効率的な住宅生産体制の整備 | | |
| 【平成27年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| a | | |
| ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定 | 標準仕様書を作成し、効率的に受発注ができる体制を整える。 | ◎ |
| ②建材・資材調達の見直しや事務の合理化 | 木材・建材・住宅設備機器のメーカーを絞りこむことにより、コストを抑える。 メーカーを絞り受発注の流れを決めることにより、事務の無駄を無くし、効率的に資材調達・現場配送を行う。 | ◎ |
| ③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制 | 家づくり向上委員会を設けて、生産の合理化に向けた取り組みを行なう。 施工構成員の施工中の現場にて、構成員向けの現場見学会を行い、より良い家づくりになるよう、生産・施工体制等について意見を出し合う。 | ◎ |
| ④生産の合理化等に向けた事務局の役割 | 国や地方自治体の施策制度情報の収集と周知を行う。 住宅着工前に施工店・流通業者と各資材の現場納品日を打合せし、効率の良い、資材調達・現場配送ができるように調整する。 | ◎ |
| b. | | |
| ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備 | 施工店が中心となりグループ内で施工基準を決めて、グループ内で共有する。 | ◎ |
| ②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定 | 上記(b-①)のルールに従い、施工ができているかをグループ内の構成員がチェックする。 | ◎ |
| ③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化 | 使用する木材・建材のメーカー・品番・サイズ・定価、使用場所等を明確に表示し、お施主様に理解しやすい見積り書の作成に努める。 | ○ |
| ④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組 | 統一のパンフレット、仕様書などの提案ツールを作成し、お客様や地域住民の方々へ「いえやす」の家づくりについて提案、説明をする。 | ◎ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入 | 勉強会・外部の講習会に参加して、構成員の技術力の向上を図り、生産体制を強化する。 | ○ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---|--|---|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域 <small>(必須)</small> | <small>(地域型住宅の名称)</small> 住みやすい家「いえやす」 | <small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 静岡県・愛知県 |
| 2. グループの名称・結成年月 <small>(必須)</small> | <small>(グループの名称)</small> 静岡 家づくり強靱化を考える会 | <small>(結成年)</small> 2015 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 <small>(必須)</small> | --- | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅))の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |
| ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 | | |
| 【平成27年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| a | | |
| ①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化 | 住宅履歴・顧客管理システムを活用し、新築時の設計図書や、訪問履歴やメンテナンス履歴を管理・共有する。 また、同システムを利用して点検やメンテナンスの時期を、お施主様・施工業者・事務局に通知する。 | ◎ |
| ②メンテナンス・リフォーム 基準の整備 | グループ内で住まいのメンテナンス時期をわかりやすく表にし、引渡し時にお施主様にお渡しする。 上記(a-①)のシステムを利用して、決められたメンテナンス時期にメールを送る。 | ◎ |
| ③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施 | 年1回以上、家づくりや地域産業と連携したイベントを開催し、OB施主様や見込顧客様に対して、新商品やメンテナンス商品、生活に役立つ 情報を提供・提案する。 | ◎ |
| ④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置 | (イ.a-3)と同様に、家づくり向上委員会が中心となり、上記の内容を企画・運営する。 | ◎ |
| b | | |
| ①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制 | グループ内の施工業者が廃業等の場合は、グループ内で管理を引き継ぎ、点検やメンテナンスを実施する。 | ◎ |
| ②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備 | 住宅瑕疵保険の保険期間の延長をお施主様に案内する。 | ◎ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 | 定期的に、リフォームに関する情報やイベントの案内をお施主様に行う。 | ○ |
| エ. グループの技術力の向上 | | |
| 【平成27年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| a | | |
| ①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催 | 認定低炭素住宅や長期優良住宅の研修会をグループ内で企画し、実施する。 | ◎ |
| ②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度 | 認定低炭素住宅や長期優良住宅の概要、外皮計算・一次エネルギー消費量計算や、国・地方自治体の施策制度に関する研修会を年2回 以上実施する。 | ◎ |
| ③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組 | 東海・東南海地震に備えた住宅の供給や、住宅の強靱化を普及させるイベントを開催し、「いえやす」のブランド価値を高め、より多くの地震 に備えた住宅を供給し、静岡県民の安心と安全な生活に貢献していく。 | ○ |
| ④③に基づく業種ごとの合 理化への取組 | より良い住宅にするための、勉強会や研修会を行う。イベントを毎年恒例のものとし、集客活動を目ごろから行う。 | ○ |
| b | | |
| ①省エネ技術講習会への参 加目標人数 | 現在、施工構成員8社中、受講した施工店が1社のため、未受講施工構成員7社中、7名の受講を目指す。 | ◎ |
| ②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組 | 未受講者を把握し、講習会開催日程の情報提供、参加を促す。 また、そのほかの業種の構成員についても、案内を行なう。 | ◎ |
| c | | |
| ①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法 | 該当なし | |
| ②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等 | 該当なし | |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 | 長期的に効果が持続し、自然素材でもある防蟻・防腐処理として活用できる「ホウ酸」を木部に施すことによって、再処理が出来ない壁の内 側及び健康に配慮した住宅の供給を目指す。 | ○ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 住みやすい家「いえやす」 | (地域型住宅供給対象地域) 静岡県・愛知県 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 静岡 家づくり強靱化を考える会 | (結成年) 2015年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | --- | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

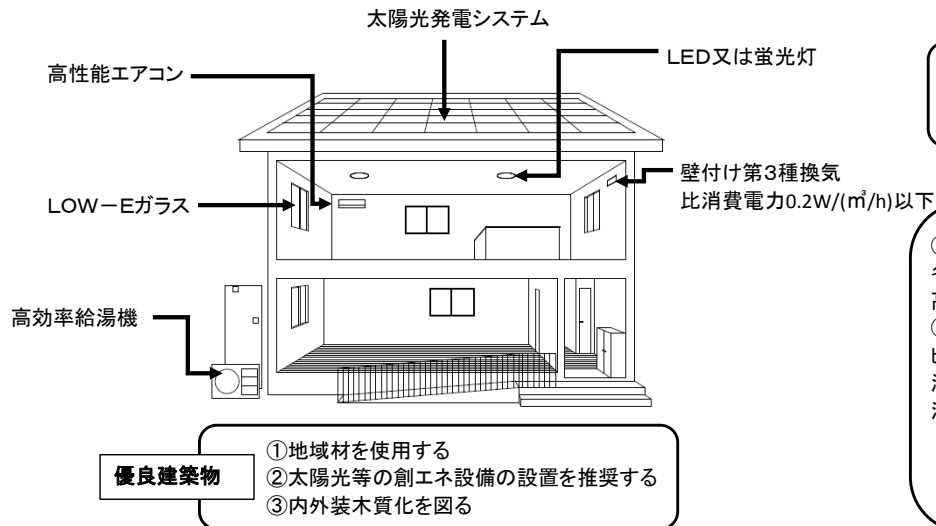
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

| 【平成27年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|-----------------|---|------------|
| a | <p>①地域材ごとの使用部位(必須)</p> <p>土台 : 桧「しずおか優良木材認証制度」、「合法木材証明制度(国内)」を使用する。 柱 : 桧・杉「しずおか優良木材認証制度」、「合法木材証明制度(国内)」を使用する。 梁・桁 : 桧・杉「しずおか優良木材認証制度」、「合法木材証明制度(国内)」又は、米松「合法木材証明制度(国外)」を使用する。</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)</p> <p>地域材の使用割合及び概算使用量は、30坪の物件を想定して主要構造材(土台・柱・梁・桁)概算12㎡とした場合、当グループが設定する地域材を70%以上(概ね8.4㎡以上)を使用する。 地域材ごとの使用割合: 桧・杉「しずおか優良木材認証制度」と桧・杉「合法木材証明制度(国内)」を合わせて30%以上(概ね2.5㎡以上)、米松「合法木材証明制度(国外)」を概ね70%以下(5.9㎡以下)使用する。</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>主要構造材の土台と柱には、「しずおか優良木材認証制度」または「合法木材証明制度(国内)」の国産材を使用する。 梁・桁に関しては、供給の面から「合法木材証明制度(国外)」の使用も可能とする。 品質性能を考慮し、主要構造材は人工乾燥材とする。</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ■合法木材の一部においては、産地・出荷者が特定できない場合がある。このため当会に所属する構成員の出荷であれば合法性の証明により、代替とする。 ■このフロー図は代表的なものである為、異なる場合がある。 | ◎ |
| b | <p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み</p> <p>グループ内で、現場棟数を把握し、適正な在庫を行ない、安定供給を図る。</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測</p> <p>グループ内で、情報を共有し、使用量を把握する。</p> | ◎ |
| c | <p>①-1 畳の活用</p> <p>和室・畳コーナーを推奨する。</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>該当なし</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>該当なし</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>該当なし</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用</p> <p>該当なし</p> | ◎ |
| d | <p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>該当なし</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>該当なし</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>該当なし</p> <p>④和の住まいの要素を取り入れた取組</p> <p>和室・畳コーナーを推奨し、日本の和文化を継承していく。</p> | ◎ |
| その他 | <p>※上記項目以外でグループ独自</p> <p>該当なし</p> | |
| その他 | | |
| 【平成27年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| 東日本大震災の復興に資する取組 | 被災地域の合板等の資材を積極的に使用する。 | ◎ |

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。



認定低炭素

- ①木造住宅
- ②設置台数の半数以上を節水トイレ

ゼロ・エネルギー住宅

- ①断熱強化
省エネルギー基準を満たした
高性能ガラスウール又は、吹付断熱を推奨
- ②高効率給湯機
ヒートポンプ式の場合:APF3.3以上
潜熱回収型の場合:トップランナー基準を
満たし、かつ給湯熱効率0.9以上

エネルギー削減率

Ro=20.7%以上(6地域)

Ro=21.2%以上(7地域)

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

第二回計画変更

| 業種区分 | 種別 | 構成員番号 | 事業者名 | 郵便番号 | 都道府県 | 住所 | 電話番号 |
|------------------|------|-------|----------------|----------|------|-----------------|------------|
| I.原木供給 | 新規追加 | I-29 | いしづち森林組合 | 793-0030 | 愛媛県 | 西条市大町1211 | 0897560180 |
| II.製材・集成材製造・合板製造 | 新規追加 | II-30 | 株式会社サイプレス・スナダヤ | 799-1101 | 愛媛県 | 西条市小松町新屋敷1171-1 | 0898722421 |
| V.設計 | 新規追加 | V-31 | 株式会社インフィルプラス | 441-8073 | 愛知県 | 豊橋市大崎町字北出口53番地 | 0532258803 |

第二回計画変更

| 業種区分 | 種別 | 構成員番号 | 事業者名 | 郵便番号 | 都道府県 | 住所 | 電話番号 | 元請の新築住宅供給戸数 (H26年実績) | 元請の新築住宅供給戸数 (直近3年平均) | うち木造長期優良住宅 (H26年実績) | うち木造長期優良住宅 (直近3年平均) | うち木造低炭素住宅 (H26年実績) | うち木造低炭素住宅 (直近3年平均) | うち木造ゼロエネ住宅 (H26年実績) | うち木造ゼロエネ住宅 (直近3年平均) | 優良建築物着工床面積 (H26年実績) | 優良建築物着工床面積 (直近3年平均) | 長期優良住宅に関する補助金の活用実績 | ゼロエネ住宅に関する補助金の活用実績 | 優良建築物に関する補助金の活用実績 | 被災地に該当 | 省エネ講習修了済 | 省エネ講習受講予定 | |
|-------|------|-------|--------------|----------|------|----------------|------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------|----------|-----------|--|
| VI.施工 | 新規追加 | VI-31 | 株式会社インフィルプラス | 441-8073 | 愛知県 | 豊橋市大崎町字北出口53番地 | 0532258803 | 17 | 24 | 12 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | ○ | | | | ○ | |